

平成30年度事業報告書

一般財団法人 いも類振興会

1. 事業の概要

わが国の重要畑作物であるサツマイモ、ジャガイモの生産振興と消費拡大等により、国民食料の安定供給に寄与するため、次の事業を行った。

情報活動事業では、従来より当振興会事業の基幹となっている「いも類振興情報」を前年度に引き続き発行した。

調査研究事業では、刊行されている「ジャガイモ事典」、「サツマイモの近代現代史」、「焼きいも事典」、「干しいも事典」を頒布した。また、「清薯源流の砦 平成の歩み」を作成した。

更に、前年度に引き続き「かんしょ品質評価研究会」を開催し、「品質評価試験報告書」を取りまとめた。

知識啓発・普及事業では、前年度に引き続き「いも類講演会」を開催した。また、農林水産省消費者の部屋における「さつまいも、じゃがいもの週」に協力したほか、いも類の啓発活動を行った。

日本いも類研究会事務事業については、引き続き研究会の事務局業務を行った。

2. 会議等の開催

平成30年度では、次の会議等を開催した。

(1) 評議員会

平成30年度定時評議員会

期 日：平成30年5月30日

場 所：三會堂ビル 9階第2会議室

議 案：第1号議案 平成29年度事業報告書および平成30年度事業計画書ならびに平成30年収支予算書の報告について

第2号議案 平成29年度財務諸表の承認について

第3号議案 その他

(2) 理事会

平成 3 0 年度第 1 回通常理事会

期 日：平成 3 0 年 5 月 1 5 日

場 所：三会堂ビル 9 階第 2 会議室

議 案：第 1 号議案 平成 2 9 年度事業報告書および平成 2 9 年度財務諸表の承認について

第 2 号議案 平成 3 0 年度定時評議員会の招集について

第 3 号議案 その他

平成 3 0 年度第 2 回通常理事会

期 日：平成 3 1 年 3 月 2 0 日

場 所：三会堂ビル 9 階第 2 会議室

議 案：第 1 号議案 平成 3 1 年度事業計画書および平成 3 1 年度収支予算書の承認について

第 2 号議案 その他

(3) 事業監査

平成 3 0 年 5 月 1 0 日に当振興会の事務室において、平成 2 9 年度の事業報告書および財務諸表等についての監事による事業監査が実施され、適正であると認められた。

(4) いも類振興情報編集委員会

期 日：平成 3 1 年 2 月 7 日

場 所：一般財団法人いも類振興会 事務室

議 題： 1 . 「いも類振興情報」の企画編集について
2 . その他

3 . 評議員、理事、監事および職員の異動

(1) 評議員、理事、監事

異動なし。(平成 2 9 年 5 月 3 1 日に選任の通り)

(2) 職員

異動なし。

4. 事業実施の概要

(1) 情報活動事業

「いも類振興情報」の発行

「いも類振興情報」は、国内外のいも類に関わる生産、流通、加工および消費について収集した情報を編集し、いも類の生産振興、消費の拡大に資することを目的に発行しているわが国唯一のいも類専門情報誌である。

平成30年度も年4回(第135号～138号)発行し、農林水産省、都道府県、試験研究機関、種苗管理センター、農業改良普及センター、植物防疫所、農業協同組合、大学等教育機関、関係団体・企業等へ配布した。

特集記事として、第135号では「サツマイモの機能性成分」、第136号では「平成29年度いも類講演会から」、第137号では「低温糊化性澱粉を有するサツマイモ「こなみずき」の育成から利用技術の開発普及」、第138号では「いも類の新品種紹介」をそれぞれとりあげた。

また、一般記事として、調査・研究、産地情報、海外情報、いもと文化、ジャガイモの料理、おいも探訪などに加えて、農研機構 種苗管理センターの協力を得て「ばれいしょ原原種の生産農場」の連載を行った。

(2) 調査研究事業

各種事典等の頒布および発行

平成21年度の「サツマイモ事典」、平成23年度の「ジャガイモ事典」、平成24年度の「サツマイモの近代現代史」、平成26年度の「焼きいも事典」および平成28年度に刊行された「干しいも事典」の頒布に努めた。ただし、「サツマイモ事典」は在庫切れの状態にある。

また、「いも類振興情報」での連載が終了した「ばれいしょ原原種の生産農場」について、農研機構種苗管理センターの協力を得て編集を行い「清薯源流の皆平成の歩み」を平成31年3月に作成した。

かんしょ品質評価研究会の開催

かんしょ品質評価研究会は、サツマイモの食品加工メーカー等の実需者、育種研究者および関係機関が参画し、加工用途毎の特性に着目した適性品種の育種開発の加速化を目的として平成16年度から実施している研究会である。当研究会の事務局は、いも類振興会に置かれている。

平成30年度は、22のサツマイモ供試系統について、用途別(焼きいも、干しいも、ペースト、カット、いもようかん、大学いも、チップ、焼酎)に各担当社が品質評価試験を実施した。その試験結果を、平成31年1月23日に、都城市内の九州沖縄農業研究センターにおいて開催した平成30年度かんしょ品質評価研究会で分析・評価のうえ、「平成30年度かんしょ品質評価研究会 品質評価試験報告書」(平成31年3月)として取りまとめ、関係機関・団体等に配布した。

ジャガイモのゲノム編集技術に関する勉強会への参加
平成31年2月5日に、大阪大学で開催された勉強会に参加した。

(3) 知識啓発・普及事業

サツマイモ、ジャガイモに関する知識啓発・普及事業として、次の活動を行った。

平成31年3月1日に東京都内三会堂ビル石垣記念ホールにおいて、日本いも類研究会との共催で下記の講師4名による「いも類講演会」を、95名の参加をえて開催した。講演会終了後、55名の参加をえて情報交換会(有料)を行った。

ア 微生物制御によるジャガイモ土壌病害技術の開発

片倉コープアグリ株式会社 筑波総合研究所 主任研究員 三星 暢公 氏

イ バレイショ育種に関わった三十数年を振り返って

カルビーポテト株式会社 馬鈴薯研究所 所長 森 元幸 氏

ウ イノシシ被害の現状と対策について

農林水産省 鳥獣対策・農村環境課 鳥獣対策室 課長補佐 中村 秀樹 氏

エ マーケティング視点からのさつまいも新品種開発

三好アグリテック株式会社 営業部 部長 大泉 敬士 氏

平成30年10月29日～11月2日に、農林水産省 消費者の部屋で「さつまいも・じゃがいもの週」が開催され、850名を超える来場者があった。

いも類振興会はこの催しに協力して、ばれいしょ16品種、かんしょ17品種を入手して展示したほか、特別展示として、さつまいも在来品種の「紅赤」、「七福」、「太白」、「源氏」、「農林1号」を展示し興味をひいた。

また、試食用として「ノーザンルビー」、「ハロームーン」などから作ったポテトチップス5種、「コガネセンガン」から作ったケンピを提供した。

加えて、関係機関・企業の協力を得て、「紅赤」の加工品、ポテトサラダ、干しいも、焼酎、色素サンプルなどのいも類関係の製品・資料を展示した。

平成30年12月10日に、帯広市のホテル日航ノースランド帯広で開催された「2018年度ポテトフォーラム」(主催：北海道農業研究センター、北海道馬鈴しょ協議会、日本スナック・シリアルフーズ協会)に対して後援を行った。

また、平成30年12月6～7日に鹿児島市で開催された「平成30年度いも類研究会」(主催：九州沖縄農業研究センター)に参加した。

関係機関・団体、マスコミ等からのいも類の知識啓発・普及に関する協力要請に対し、前向きに対応した。特に、30年度はマスコミ各社からの「焼きいも」に関する協力・取材要請が多く、いも類への関心を高めるため積極的に対応した。

(4) 日本いも類研究会事務事業

前年度に引き続き、日本いも類研究会の事務局として、その事務局業務を円滑に実施した。なお、日本いも類研究会の会員には「いも類振興情報」の各号を1部ずつ配布している。

(5) いも類に関する情報の収集および提供

官公庁、試験研究機関、関係団体・企業、生産現場等から、国内外のいも類等に関する情報を収集・整理した。

また、いも類関係者、大学、マスコミ、企業等からの来所、文書、電話等による照会・相談に対し説明を行った。

いも類振興会の組織、事業活動、財務内容等に関する情報公開を、インターネットの共同サイトを通じて行った。